

お元気ですか

三菱樹脂OB会だより第十五号

鳥居会長年頭ご挨拶



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご家族ともども良いお年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。旧年中は、大変ご協力を賜り、ありがとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。長期予報では、暖冬とのことですが、近年の地球全体の環境変化でどうなりましようか？天変地異のなきことを祈っています。さて、当OB会は、昨年十五年を迎え、会員数は六百名を超えるまでになりました。会の運営方針としては、従来同様、年一回の総会のほか、スポーツ、歩こう会、作品展、趣味の会など、心身の健康増進と会員相互の親睦を深めるとともに、会員の皆様にお役立ちできることを念じ

て取り組んでまいります。私の謡曲の友人で、元カネボウで長浜にも住まいされた方がおられますが、会社がなくなってしまう、OB会どころでなく、寂しいといっておられます。

また、昨今の会社合併などで統一したOB会運営がむづかしい会もあると聞いていますが、わがOB会は恵まれています。

今年も、OB会の各種催しに多数ご参加されることを願っています。また、本OB会だより、ならびにホームページで会員の方々のご活動を参考にしてください。

本年の総会は、五月二十五日(金)に平塚工場で開催を予定していますので、あらかじめご予定に入れていただき、奮って参加願います。

皆様のますますのご健康とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とします。

大阪支部定期総会

平成十八年十一月九日(木)
場所 大阪・道修町「田舎家」
参加者二十七名 山口滋支部長、加藤敏雄、宇塚正、岡本益弘、奥田公具、押切繁、小野博三、加藤

龍雄、熊倉寛、小森喜成、内藤次生、中谷昌弘、中村光男、西本郁夫、能瀬庄一、平井穰、福井久、松本弘、山口陸雄、山本功、吉川康夫、吉田康子、南博子、(以下現役)小篠支社長、神代真美子、古川千佳子、山浦真早美

今総会は趣向を変えて大阪市内道修町の居酒屋「田舎家」を借り切った開催となった。山口支部長の開会挨拶、行事・会計報告で始まり、加藤敏雄さんの心に沁みるご挨拶、そして中村光男さんの力強い乾杯で開宴。



遠くは四国から馳せ参じてくれたお二人を始め、ゲストの小篠関西支社長(会社近況報告あり)、現

役女性を含め二十七人が「今日はフリードリンクです」の一声で勢いよく食べ飲み始める。酔うほどに席を移動する人が多くなり懐旧談や近況交換の話に花が咲いている。

十時頃だったろうか、昨年同様、有志による忘年会の提案がありこれを機に中締め散会となった。(熊倉 寛記)

本年度OB会総会予告

平成十九年五月二十五日(金)
場所 平塚工場

歩こう会

詳細は後日ご連絡します。本部第五十三回歩こう会 東京下町を歩く 両国界限散策 平成十八年九月二十六日(火) 参加者二十七名 安彦隆、石橋正康、市村義雄、伊藤敬輔、伊藤夫人(圭)、岩田幸三、木沢英雄、木原仁博、近藤久美、栄洋一、坂本堅一、佐藤勇、塩澤敏行、下瀬英樹、白崎勝、柘植茂、土川猛弘、花田正一郎、原田浩次、平松久、藤原志朗、部谷宣之、松内俊夫、宮下和久、山本猛、山谷章浩、吉井靖

当日は雨天の中、総勢二十七名(内初参加三名)が、両国駅西口改札口に集合。定刻十三時五分、全員元気よく傘を差して出発。

まず、両国国技館附設の「相撲博物館」を見学。若い館員の熱のこもった説明を受けながら観覧。次に予定していた「旧安田庭園」「隅田川テラス遊歩」「両国橋」は割愛。回向院に直行。

回向院は明暦三年の振袖火事で犠牲になった無縁仏を供養するため、開創された無縁寺です。その後、火災、風水害、震災などで横死した無縁仏を葬る習わしとなつて、現在、境内には多くの供養塔が並んでいます。その中であつて、「鼠小僧次郎吉の墓」が異彩を放っていました。

回向院が人を集めたのは、一つには相撲興行にあります。天保四年から明治四十二年の旧両国国技館完成まで、春秋二回境内で相撲が興行されて、賑わっていました。

一行は、雨に濡れた石塔に手を合せ冥福を祈り、防災への覚悟を新たにしつつ退去。裏門をくぐり、旧吉良邸に通じる無縁寺裏通りに出る。



元禄十五年赤穂浪士が討ち入った吉良邸は、当時二五〇坪を擁する堅牢な屋敷でしたが、今は、敷地のほんの一部が松坂町公園となっていて、なまこ堀に囲われたその中に「吉良首洗い井戸」を残しているに過ぎません。

さらに、一行は、雨を厭わず歩を進め、「芥川龍之介文学碑」「勝海舟生誕地」「二茶寓居跡」「北斎生誕地」を巡り、「江戸東京博物館」に至る。

ここで、傘をすぼめて、一息つく。五十分間、館内を自由参観。

最終の懇親会場は、JR両国駅の駅舎を利用した居酒屋。天井が高く実物の土俵が設けてあり、相撲甚句の流れる相撲ムードが横溢した店です。それに合せて「ちゃんこ鍋」を囲む。一同、雨中同行の仲間を労い合って歓談。

十八時三十分、三本締めでお開き。相撲甚句を背に散会。

(岩田幸三 記)

長浜支部歩こう会

関が原古戦場ハイイク

平成十八年九月二十六日(火)

参加者十六名 磯田智、岩根信次、梶道信、後藤健二、小林守、柴田清廣、武内英之、外海金太郎、富岡秀雄、西沢芳朗、西島藤夫、馬場智章、武蔵秀夫、森川栄壽、安野孝美、世森幹治

当日はうす曇、絶好のハイイク日和となる。ダイヤサービスの駐車場に集合、ここから車四台に分乗し「関ヶ原歴史民族資料館」に赴く。



ここから女性ガイド加納さんの説明を受けながらの行動となる。

館内で「天下分け目の合戦」についてパネルを使つての説明をうける。その中で「皆さん長浜から

来られた人なのでよくご存知と思いますが、この戦いは小早川秀秋の寝返りにより勝敗が決せられました。これに同調したのが脇坂、朽木、小川、赤座の各陣営でいずれも、近江出身の武将です。」との説明、やや複雑な心境となる。

館内展示品の解説を受けた後、いよいよウォーク開始。

関ヶ原は「一里四方」と呼ばれるごとく東西4km、南北4kmの中に西軍、東軍合わせて十六万人の武將の戦いが繰り広げられた。各陣営の配置もそんなに距離はなく、陣営めぐりのウォークは少しの高

過ぎた。

ガイドマップおよび案内標識もわかりやすく整備されており、また、事前に申し込めばボランティアガイドも無料で案内をしていただけのことです。

ウォーク終了後、長浜に戻り、有志による「軽く一杯」のどを潤し、本日の予定を無事終了した。

今回のコースは、

関が原歴史民族資料館→黒田長政陣跡・丸山烽火場→石田三成陣跡(昼食)→島津義弘陣跡→小西行長陣跡(開戦地)→宇喜多秀家陣跡→大谷義継の墓→壬申の乱の「黒血川」、「自害峯」→不破の関守跡→福島正則陣跡→京極・藤堂陣跡→西首塚→東首塚→徳川家康最後陣跡→民族資料館

で、距離としては約10km。

(磯田智 記)

大阪支部第二十三回樹楽会

武庫川渓谷を歩く

平成十八年七月十日(月)

参加者十名 奥田公具、熊倉寛、岡本益弘、福井久、松本夫人、内藤次生、吉田康子、山口陸雄、平井穰、松本弘

JR宝塚駅からひと駅で集合場所の生瀬駅。

梅雨の最中だが、薄曇り時々陽射しありのハイキングには好条件。今回は、二十年前に廃線となつた旧福知山線の軌道跡を武田尾温泉まで約二時間歩く

このコースは、武庫川渓谷沿いで岩石等の景観も良く、また当時のまま残っている長短幾つものト



ンネルくぐりを楽しめる。

一同、最初のトンネル入口で記念撮影。懐中電灯を頼りに、濡れた枕木を踏みしめながら、トンネルの中を歩く。

三番目のトンネルを通り抜けると、対岸に渡る鉄橋だ。溪流を眺めながら渡り終えると、すぐにまたトンネルが二つ続き、やがて武田尾温泉入口にさしかかり、ここで昼食。

この温泉街は、先年の台風で崖崩れや大橋が流されるなどの被害を受け、いまだに工事中で、すっかりさびれた状況にある。

辛うじて営業している感じの老舗宿の岩窟風呂で汗を流し、ビールを飲み干す。

トンネル鉄橋の中にあるJR武田尾駅から宝塚へ。そして全員が阪急電車に乗り換えて「十三」で懇親したのであった。(熊倉寛 記)

ゴルフ同好会

本部第二十六回ゴルフコンペ

平成十八年十月五日(木)

湘南カントリークラブ

参加者十一名 坂本堅一、東田浩作、小宮康正、渡部一蔵、平野博之、長嶺英則、山田守士、中川芳高、高橋健二、牧原稔、篠島秀明

当日は、当初、開催も危ぶまれる雨模様。天気の日でしたが、スタートする頃になって不思議に雨は止み、前半のアウトは殆んど雨とは無縁でプレーを楽しむことができました。



午後になって雨の気配が強まり、むしろ若手がプレーを躊躇する中、坂本さんの元気に引きずられる形で、後半のインをスタートしましたが、最後まで小雨程度で収まりました、続けてよかったというのがプ

レーを終えた後の皆さんの感想でした。

渡部さんと山田さんが体調を考えて後半のインをプレーされなかったのは残念でしたが、前半のアウトは充分に楽しまれたと思います。

今回は初参加者が五名にもなったのが収穫でしたが、参加者が十一名と少なく、プレー後の打ち上げのパーティでは、どうしても次回からの参加者の増加が図れるか一つの話題になりました。

また、七十七歳以上のプレイヤーの優勝チャンスを増やすためのハンディキャップ改定も検討課題として話題に上りました。

優勝 牧原 稔
準優勝 小宮康正
第三位 平野博之
次回は、平成十九年五月八日(火)に湘南カントリークラブで開催の予定です。
(篠島秀明 記)

長浜支部第二七回ゴルフコンペ
平成十八年十月六日(金)
彦根カントリー倶楽部

参加者二十一名 笹原榮之助、小林一好、柴田弥蔵、竹田善祐、岡秀雄、森川榮寿、西沢芳朗、辻彦太郎、西田英一郎、服部重受、加藤勲、山田知男、松宮正之、野田和久、岩根信次、尾本光弘、武田了久、矢作憲三、鈴木健治、野村勝彦、柴田清広

前日夕刻より降り続く雨の天気です、中止するか迷ったが、午後から回復という予報を信じて決行す



ることとなり、秋雨の中をスタート。

予報より早めに雨は止んだものの、水溜まりのフェアウェイ、雨で濡れたラフの芝に悩まされて全員苦戦のプレー。

そのような中、ダブルペリア方式によるハンデキャップに恵まれた柴田清広氏が優勝をさらい、準優勝は実力通りベスグロ賞も獲得した笹原榮之助氏、三位は常に堅実なプレーをされる野田和久氏が入賞。

いつもの通り、プレー終了後、場所を社員会館に移して懇親会を開催。表彰式、馬券とオネストジョングームの配当など盛りだくさんの行事が進むにつれて、酔いも回って成績のことなど忘れてゴルフ談義は大いに盛り上がる。

森川支部長の音頭による一本締めで散会し、中秋の名月の夜道をほろ酔い気分帰宅。

優勝 柴田清広
準優勝 笹原榮之助
第三位 野田和久
(柴田 清広 記)

大阪支部第十回ゴルフコンペ

平成十八年十月六日(金)

神戸ロイヤルパインズGC

参加者六名 宇塚正、岡本益弘、平井穰、山本功、吉田康子、古川千佳子(現役)

今回は、病欠・所用などにて参加者数六名と寂しい会となったが、現役の古川嬢が花を添え、また、前日までの雨天の予報にも拘わらず、傘も不要の絶好のゴルフ日和となり、和気あいあいの楽しい会となった。

結果は、次のとおり、最近ゴルフの腕を上げてきた吉田康子さんが人生初の優勝をとげて大喜びであった。(パートナーに恵まれたのでしよう)



優勝 吉田康子
準優勝 宇塚 正
第三位 平井 穰
(平井 穰 記)

九州支部第一回ゴルフ会

平成十八年十月二日(月)

玄海ゴルフクラブ

参加者六名 相馬義一、桑村卓正、菊浪義信、入江勝彦、原田幸裕、甲斐国紘

九州支部の第一回ゴルフ大会は、直前になって幹事二名(両柴田)が参加できないハプニングがありましたものの、晴天の中、和気藹々の雰囲気で行われました。

玄海ゴルフは、九州の名門コースで、営業出身の皆さんは、昔よく廻ったコース、若かりし昔を思い出しながら、心ゆくまでゴルフを楽しみました。



栄えある第一回の優勝者は菊浪さん、ベスグロは入江さん、相馬支部長は、予想どおりメーカーでした。
(柴田寿一 記)

テニス同好会

本部地区第十二回テニス大会
平成十八年十月十日(火)

場所 ダイヤモンドテニスクラブ
(東京・高井戸)

参加者十八名 伊藤春生、市村義雄、岡田五郎、加藤欽一、川上治夫、木村芳朗、駒橋武男、坂本堅一、笹本宏昭、関守二、高橋義衛、塚田正昭、土川猛弘、鳥居正義、堀河勲、宮下和久、安田久雄、山本 暉



当日は雲一つない秋晴れのテニス日和。総勢十八名の参加を得て、盛会のテニス会となりました。

当テニスクラブのメンバーでもある塚田さんは、怪我でテニスができないにもかかわらず、ご参加いただき、試合の組合せなど裏方のお世話をしていただきました。

試合は、いつものとおり、四ゲーム先取の方式で行われ、各人、四六試合の試合を行ないました。内容的には、OB会とは思えないようなレベルの高い好ゲームが展開され、三時間、熱戦が繰り広げられました。

テニス終了後、クラブハウスの食堂で懇親会を開催。反省会をかねてテニス談義に花を咲かせ、十九時ごろ閉会。

なお、次回は来年五月十五日(火)開催予定。(宮下和久 記)

フォトサークル2000

「第十六回撮影会」
鎌倉・円覚寺ほか

平成十八年十一月二十九日(水) 参加者九名 久保秀雄、関守二、永松啓至、埴宏、広江昭道、柳澤知男、山崎勲、山本猛、吉井道郎
秋の紅葉撮影は、ここ数年鎌倉で行っているが、温暖化の影響か、年毎に色づきが冴えなくなっているように感じられる。

九時三十分北鎌倉駅集合、早速、円覚寺に入る。前日とは打って変わって快晴で、まさに小春日和であ



る。結構大勢の観光客やカメラマンが訪れている。色づいた紅葉を探し、十一時頃まで撮影。

その後、建長寺に向かう。建長寺で昼食、記念撮影を行う。十三時頃まで撮影し、三番目の海蔵寺に向かう。途中、亀ヶ谷坂切通しを通り十三時三十分頃到着。この寺は規模は小さいが、紅葉の色づきはそこそこで、各自思い思いの場所で十四時三十分頃まで撮影し、本日の撮影会は無事終了した。この日の成果は、来年二月のOB会作品展に発表の予定です。ご期待ください。(永松啓至 記)

趣味・健康・ライフワーク

長浜第十回ゲートボール菱友会
平成十八年七月三十一日(月)
長浜サンドーム



参加者二十五名 田中亘、藤田稔、丸山寛司、高田哲、寺村浜江、細江光夫、武内昌央、塚田義隆、前田菊枝、小倉英義、北川久男、小山巖、小川忠治、今庄正義、小林剛、小林辰夫、浅井光男、松居稔、村田米造、清水守、今中智、溝口厚雄、東田昭一郎、藤居美智子

今回は十回目ということで、「記念大会」として各種賞品も準備し、二十五名の方々が参加されて盛大な大会となりました。

北川久男会長の開会挨拶の後、五チームに別れてのリーグ戦が開始され、午前九時すぎから午後の三時頃までの長時間に亘る白熱戦を戦い抜きました。

ふだんは地元のチームで活躍されている腕自慢の方々ですが、長浜工場で共に働いた仲間ということで、真剣な中にも和気藹々とした雰囲気の中で、ゲームを満喫しました。(柴田清廣 記)

OB会事務局から

▽会員の状況

全会員数 六一八名 本部三四九名
長浜一八一名 大阪三七七名
名古屋二二名 九州二九名
(平成十八年十二月末日現在)

▽訃報

佐々木英雄殿 平成十八年九月十一日逝去
荒木 秀浩殿 平成十八年十月十九日逝去
中村 壽夫殿 平成十八年十一月六日逝去
川瀬 新三殿 平成十八年十二月四日逝去
慎んでお悔やみ申し上げます。

第七回 OB会作品展のご案内

会期 平成十九年二月十二日(月)～二月十八日(日)
時間 午前十時～午後六時
(初日は正午から、最終日は午後四時まで)
場所 神奈川県民ホール第一展示室 京浜東北線関内駅、石川町駅より徒歩十五分、みなどみらい線日本大通り駅から徒歩五分
問合せ先
平松久 電話 03-3700-1944
FAX 03-3708-6868

発行者：三菱樹脂OB会事務局 〒110-0016 東京都台東区台東4-19-9 山口ビル7-2F
(株)ダイヤサービス東京支店内 担当 原島尚参 TEL 03-3834-9174 FAX 03-3834-8837

編集委員

加藤 進	TEL/FAX:03-3709-3610	e-mail ssmkato@oregano.ocn.ne.jp
柴田清廣	TEL/FAX:0749-65-7834	e-mail shibapin@guitar.ocn.ne.jp
原田浩次	TEL/FAX 045-621-3355	e-mail kh8893@mb.infoweb.ne.jp
宮下和久	TEL:03-3290-0619 FAX:03-3290-0618	e-mail kazuhisa14@jcom.home.ne.jp
柘植 茂	TEL/FAX 03-5548-3455	e-mail beetsuge@snow.ocn.ne.jp

OB会ホームページのアドレス

<http://www.obkai.mpi-mrc.co.jp/>